

2023年(令和5年)9月6日(水)第7回例会(通算2989回)

2023-24年度 ◆クラブ会長テーマ◆ 「奉仕の輪をひろげよう」

会長：前原 博一 副会長：宮城 早人 幹事：今西 敦之

直前会長：大浜 勇人 副幹事：新里 裕樹 会場監督(SAA)委員長：新川 正人



世界に希望を生み出そう

2023-24年度RI会長テーマ

RI会長：ゴードンR.マッキナリー

栃木一夫ガバナー 地区基本方針

「持続可能な元気なクラブを実現しよう」

地区の合言葉

「ロータリアンの心に火をつけよう」

” Get the joy of Rotary”

今月のロータリーレート 1\$¥146

八重山の民謡

ンゾーニンプツイ

◎無蔵念佛節(本調子)

※この歌は、登野城村の「宮良善勝」が1800年上原目差役職の時に公用で首里王庁へ出仕公用を終えて首里郊外の特別部落・アンニヤ村に行き、チョンダラー「京太郎」から盆行事に歌う浄土宗の教えの道を説いた念仏を稽古して来てこれを少々改作改曲して発表したのが八重山の「無蔵念佛節」である。チョンダラー「京太郎」とは「カイライ師・人形使い・マンザイ・万歳アンジャ」等と称している。首里郊外の特別部落にいた「賤民」で年の初めには家々の門に立ち人形を舞わせ又葬式の時等は念仏を唱えるなどして金品等を得ていた。(作詞・作曲 宮良善勝)(八重山民謡誌より)

ウヤ ウグヌ フカ チチグ ウグヌ ヤマタカ
●親ぬヤウ 御恩は 深きむぬ 父御ぬ御恩は 山高さ
(親の御恩は深きものである、父上の御恩は、山よりも高いものである)

ファファグ ウグヌ ウミフカ
母 御ぬ 御恩は 海深さ (母上の御恩は、海よりも深いものである)

ヤマ タカ ウミ フカ
●山ぬヤウ 高さや さわかりん 海ぬヤウ 深さん さわかりん
(山の高さは、計り知ることができる、海の深さも計ることができる)

ヒル チチグ アシ ウイ
昼やヤウ 父御ぬ足が上 (昼は父上の、脚の上で)

オージ カジ フウ ユル ファファグ フトックル
●扇子のヤウ 風にヤウ あをがりてい 夜やヤウ 母 御ぬ 懐 に(扇の風に、扇がれて、夜は母上の懐に)
トゥヤイ ハタイ イショウ ウチ
十重む 二十重む 衣装が内 (十重、二十重む「十二単」の衣装の内側に)

カタ ファファ カワ カタ クワニ
●ぬりるヤウ 方には 母 ゆくてい 乾くヤウ 方には 子寝してい
(濡れた所には母が寝て、乾いた所には、子供を寝かして)

ムルトウム ムニ ウイ
諸 共 ぬりりば胸が上 (諸共に濡れると、母上の胸の上に寝かし)

フドゥヤ ウム トゥン トゥーハタチ
●くり程 親にヤウ 思わてい 年やヤウ 十 二十歳なゆりどむ
(これほど親に、大切に思われて、年齢は二十歳にも、なっているが)

ウヤ ウグヌ マシ
親ぬヤウ 御恩は 未だ知らん (親の御恩は、まだ知らない)

9月のプログラム 9/6(水)入会式並びにゲスト卓話 9/13(水)会員卓話 9/20(水)休会 9/26(火)夜間例会

例会日 水曜日 12:30~13:30
事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町 1-1-4
URL <http://ishigaki-rotary.jimdo.com>

例会場 アートホテル石垣島(0980)83-3311
TEL/FAX(0980)83-2917
E-mail ishirotaary@ninus.ocn.ne.jp

- ◇総会員数：55名（名誉会員2名・出席免除会員2名）
- ◇出席義務会員数：51名
- ◇出席人数：38名 欠席人数：13名 出席率：74.51%
- ◀司会進行：新川正人・玉城一吉▶
- ◇ロータリーソング：えんどうの花 四つのテスト
- ◇ソングリーダー：松田新一郎
- ◇ゲスト：県議会議員 大浜一郎様（正会員）
- ◇メークアップ：櫻井浩一 宮良幸男 森田安高 大城文博
宮良榮子 石川尚吾 上原晃子

◆ 会長挨拶 ◆
前原博一



こんにちは、本日も例会に参加頂きありがとうございます。
様は、高校野球を見ますか？高校野球と言えば「甲子園」
沖縄尚学は残念ながら慶応義塾に負けてしまいましたが、
本日、決勝戦(慶応義塾 VS 仙台育英)がおこなわれるところで
す。さて、高校野球という「丸刈り」をイメージする方が多いと思
いますが、今回の全国高校野球選手権大会では、この「丸刈り」
が話題となっています。
「甲子園 ベスト8に丸刈りでない高校が3校、勝ち上がった。」と
のニュースがでていました。今回の大会では 49校の出場校のう
ち少なくとも7校が丸刈りをせず出場したとのことでした。
これまでは強豪校＝丸刈りのイメージが強かったかも知れませ
んが、丸刈りをしていない7校のうち 3校が、ベスト8。強豪校と
髪型は関係ないことを証明したのでしょうか？
日本高野連が全国の高校をアンケートした高校野球実態調査
によると「丸刈り」は、2023年 26.4%、5年前の2018年では同
調査では 76.8%と「丸刈り」が激減しているそうです。
高校野球の代名詞の丸刈りは過渡期にあるとの指摘があります。
そもそもなぜ高校野球＝丸刈りなのでしょう？
日本学生野球憲章には、頭髪に関する規定は一切ありません。
規程がないのにもかかわらず、丸刈りが伝統化されたのは「戦争」
に関係があるとの一説があります。
第1回全国高等学校選手権大会(1915)、第一次世界大戦の
真っ最中、当時の日本国民は、丸刈りが当たり前で、戦時体制
下でも開催されていた夏の甲子園では長らく丸刈りの球児が出
場しており、この印象が高校野球界全体の「伝統」になったとも
言われています。
丸刈りをしている又はしない各学校の監督、選手からの声は
丸刈りしない理由、「大事なものは見た目ではなく野球の中身。自
分たちも見た目では何かを判断しない人間を目座している」
「野球部だから頭を丸める必要はないと感じている」・「多様
性が叫ばれる社会で、いろいろなチームがあって当たり前と
認めるべきだ」
丸刈りをする理由、「チームに一体感がでる」・「丸刈りが伝統
のように引き継がれている」などのそれぞれの声がありました。
いろいろな意見、考え方がるので、丸刈りは良い、悪いとい
うのではなく、多様性の時代、というワードが印象的でした。
そうは言っても、私自身、正直、高校野球は丸刈りが似合っ
ていると思います。みなさまは、高校野球の髪型について

どのように感じているのでしょうか？そもそも髪型で話題にな
るほどに高校野球界も時代とともに変化していくのでしょうか？
高校野球の髪型の話からロータリークラブについて1つ気づ
いたことがありました。

私が十数年前に入会した当時のロータリークラブと現在では
奉仕活動を1つ取ってもいろいろと変化してきたところも多いの
ではないのかということです。ロータリークラブも時代とともに多
様性が求められているのでしょうか？

それでは、本日も「奉仕の輪を広げていきましょう」
以上会長のあいさつでした。ありがとうございます。

◆ 幹事報告・報告・今西 敦之 ◆

本日は3点です。今年度の地区大会の速報が届いております。
開催日は、令和6年2月29日(木)13時から本会議の開催で
す。場所は、帝国ホテル東京です。皆さん、日程を調整しながら
是非とも多くの会員の皆さんで出席したいと思いますので、宜し
くお願い致します。9/8(金)に開催されます会員増強、DEIのワ
ークショップですが、当クラブから宮城会長エレクト、垣本会員増
強委員長が出席されますので、どうぞ宜しくお願い致します。テ
ーブルの上に台北大同 RCの週報が届いておりますので、ご一
読をお願い致します。補足になりますが、波照間小中学校の視
察訪問には、クラブで作ったミンサーの制服での着用で訪問を
させて頂きたいと思っております。

以上、今日も一日、宜しくお願い致します。

◆ 会員・委員会からの報告 ◆

黒島剛プログラム委員長：9月のプログラムについて、9/26(火)
観月会として桃林寺さんの方で夜間例会をしたいと考えており
ます。申し訳ないですが、例会は毎週水曜日ですが、今回は
9/26(火)に変更させて頂きます。その時に、東京上野 RC から
も2、3人来る予定がありますので、9/27(水)がトゥバラーマ大会
です。12夜になりますが、月を見ながら美味しいBBQを食
べたいと思っています。今回は、9/26(火)に桃林寺の方で、東
京上野 RCさんを招いて観月会をしたいと思っております。皆さん
スケジュールの方を空けてください。宜しくお願い致します。

松田新一郎社会奉仕委員長：ロータリー財団の地区補助金
のご承認いただいた件は、以前にお伝えしたとおりですが、早速、
第1回の打ち合わせを8名で波照間に向かう予定でいます。
私、今西幹事、宮城副会長、宮良薫さん、上勢頭さん、国仲副
委員長、垣本さん、佐久本さんの8名です。参加されたい方が
いらっしゃいましたらご連絡ください。明日、7時半に安栄観光
の前に集合です。

◆ ゲスト卓話：大浜 一郎 県議会議員 ◆

テーマ：県議会議員のいろいろ

皆さん、こんにちは。県議会の概要からお話をさせて頂きたい
と思っております。県議会議員は全部で48名の県議会議員で構成さ
れています。名護市2名、うるま市4名、沖縄市5名、宜野湾3
名、浦添4名、那覇市南部離島11名、豊見城市2名、南城市
島尻郡4名、糸満市2名、宮古2名・石垣2名、国頭2名、中
頭5名、そのような構成になっています。沖縄県は、1人区の選
挙がないので、1票の格差が極めて少ないというような選挙区に
なっております。どのような会派は何名くらいなのか、ということ
ですが、我々、自民党会派は現在18名です。ていだ平和ネット
さんが8名、日本共産党さんが7名、おきなわ南風さんが4名、

立憲おきなわさんが4名、公明党さんが2名、無所属の会派が2名、無所属に3名の方々がいて、そのような構成になっています。県議会のなかには、常任委員会というのと特別委員会というのがあります。常任委員会というのは各部署の部署別の予算を作ったり、部署の決算を審査したりします。常任委員会には、陳情とか要請、部局の仕事がどのように前に進んでいるのか、滞っていないか、というような事を審査するような委員会です。沖縄県はどちらかというと、陳情とかの請願ごとが多い県と言われております。全てに受け付けた場合には、部局の方からそれに対する回答を添えてこの委員会に出て来ますので、部局の要請に対する姿勢というものが分かるようになっていきます。県民の声は基本的にみんな受けようというのが基本的な姿勢です。

特別委員会には4つあります。私がいるところは、新沖縄振興・公共交通ネットワークです。航空路線の問題や沖縄振興の予算等で進められている事業とか、そういったものを特別委員会のなかで審議をしています。これは幅広いことなので部局の予算を審議することはありませんけれども、この方向性でいいのかどうかという事を議論することが特別委員会でありました。常任委員会のなかで、私がいま経済労働委員会というところの委員長をさせて頂いておりますが、これは農林水産部、文化観光スポーツ部、商工労働部、労働委員会の方を総括する委員会の委員長をさせて頂いております。このなかで特に私は離島に関係する案件、要請、陳情がかなり多いことから、この委員会において、いろいろな在り方というものについて、施策の進捗を来年の6月の任期までには、しっかりと務めるということになっています。

沖縄県議会議員には、特別な設えとして1人に1室の居室が与えられています。他府県では、個人議員に1人の居室は与えられていません。沖縄県だけです。何故かと言うと、沖縄県は、復帰前まで立法院時代がありました。その立法院というのは、予算を作るための立法院でありますので、その流れを組んで一人一人の居室が与えられているということでもあります。5.5畳程の部屋が与えられているので、非常に快適に議会における執務仕事ができるようになっていきます。

県議会本会議一般質問では議員一人当たりには与えられた質問時間というのは17分です。全体では約60分で質疑応答が行われます。質問は野党から始まります。最大会派の我々沖縄自民党の方から一般質問をします。時間の都合上で、与党さんの方では順番があつて、質問を調整されているようですけども、我々県政では、野党なので全員が質問をするということになります。議席の位置ですが、1期目は一番前に座っていました。だいたい1年生もしくは会派の議員が少ないところは必ず誰かが一人、前に座らなければなりません。今の私の席は、通路側の中央席3番目に座らせていただいております。前回の選挙で、沖縄自民党会派においても、かなり1年生議員が増えましたが、私が補選で当選した平成30年当時、沖縄自民党会派は14名でした。当選回数によって議席は後方になるようになっていきます。

沖縄県の議会の質問内容等々は、他府県と違ったニュアンスがあるのはご存じかとは思いますが、沖縄県での一般質問は、議会の議論のなかでは、もちろん地域のことは当然、細かくしますが、国際的な問題が質問に上がることがよくあります。特に米軍基地の問題とかもありますから、そういったことに関連する国

際問題の話、日中関係の話、最近では、台湾との関係の問題、台湾海峡に関する問題等の質問が多いということは、沖縄県の抱える特に安全保障環境における特殊な地理的特性が、県議会に反映されているのだと感じています。沖縄県議会でも出る質問の答弁内容によっては、全国紙で取り上げられたりすることもあるというのは、そういうことが関係しているのだろうというふうに思っています。

私たち議会にとって一番大切なのは、毎年の予算がどのような形で推移をしていくのかということですし、県政の施政がどうかと、知事の政治姿勢、施策の方向性、実効性ということを我々は議会の中で論戦をします。8月は次年度沖縄振興予算の概算要求というものが内閣府から発表されます。予算執行は4月から今年度の予算はスタートしますが、国においては5月から次の年度の予算をどうするか議論が始まるわけです。6月頃に次年度予算のアウトラインができ、そして8月には概算要求が積みあがる流れになります。報道等で目にした方もいらっしゃると思いますが、令和6年度沖縄関係予算概算要求額は2920億ということです。令和5年度が2679億でしたから、若干増額の概算要求になるということになります。またプラス事項要求というのがありまして、これは防災や減災、国土強靱化5か年加速化対策に必要な経費等ということで、金額は決めませんが事項要求ということで、これもプラスされてその都度予算が付くという形になります。県は、3000億レベルを要求していましたが、やはり国との関係やいろんな問題も影響したのでしょうか、どうしても3000億には届かないというような状況が経年続いています。

今回の予算を見ますと、新規で人材不足の緊急対策事業というものが10億ぐらいの予算がついておりますし、特に沖縄科学技術大学院には、196億から222億までに増額されています。子どもの貧困に関する予算ですが、島尻あい子沖縄担当大臣の時に新設された時に10億円の予算が初めて計上されました。あれから毎年減ることなく、前年度は17億の予算でした。今年の概算要求では19億に増額されています。これだけの20億に近い予算が組まれていることでもありますけれども、この前の県民アンケートでは、中高生の貧困の問題がかなり深刻化という結果があるので、私はこの費用対効果について、もう少し検証すべきものだなというふうに思っています。子どもの貧困をどうにかしていくためには、予算も必要でしょうけれども、施策の内容が非常に大事なので、そこは役所仕事で終始してはダメだなというふうに思うので、これは何とかしなければいけないと思います。

また、沖縄離島活性化事業などは、25億から30億に増額されています。沖縄小規模離島生活基盤整備推進事業費は、前年度と同じように7億ついでありますが、これは離島に対する光ファイバー等の敷設費用になります。沖縄振興開発金融公庫補助金として55億円です。内容は新型コロナウイルス感染症特別貸付に伴う損益収支差に対する補助金、スタートアップ支援に向けた公庫出資金の原資積み増し(2億円)等です。沖縄振興開発金融公庫というのは、沖縄振興策があるがゆえに存在している公庫でありまして、沖縄振興策が終わると自動的に日本政策金融公庫に合併されるということになっています。沖縄公庫が特に離島地域では、極めて重要な役割を果たしているということは皆さ

んご存じだと思います。振興策と沖縄公庫、金融と政策は一体化しているということです。これら沖縄に特化した政府の金融政策においては県民のご理解をいただき、出来る限り振興策が続くようにして公庫が存続できるようにしっかりと政治の立場からも要求をしていきたいと思っております。

振興策の中には、県を通さずに直接、市町村に交付される「沖縄振興特定事業推進費」というのがありますけれども、これは前年度当初予算で80億円でした。昨年、市町村会が「これでは困る」ということで増額要請を行い、要請に応える形で国の復活折衝の末に最終的に85億に決まりました。今年も同じく85億が計上され、県を通さずに、国から市町村直結で下ろしていく予算です。この予算を効果的に活用するには、市町村が施策内容を十分に作りこまなければ、なかなかゲットできるものではありませんけれども、県を通さずに直接、国から下りる予算としては非常に有用な予算ではないかなと思っております。この予算のみならず、沖縄にとって一番大事なのは、沖縄振興に関連する税制の問題です。沖縄型特定免税店制度、沖縄発電用特定石炭等の免税、これは発電に際し石炭等化石燃料を使用しているためです。また、沖縄電力が安定的に電気供給できるように、焼却資産に係る固定資産税の特例となっており、固定資産税の減免になります。また、揮発油税軽減措置(ガソリン税)もありますが、これら特別な税制は沖縄県のみ適用される税制であり、県民生活に直結している税制です。

ご存じの通り、沖縄の関係予算というのは、省庁にある既存の制度のみではなくて、内閣府が一括して計上する予算という方式を沖縄はとっています。これも沖縄県のみが適用されている仕組みです。内閣府でどのように見積をするのか、内閣府でどのような新規事業が必要だと思うのかというのも沖縄県は国としっかりと議論をして、そして予算要求に向けて要請していくことをしています。沖縄県が弱いところは、内閣府で予算の一括計上に頼りすぎて(有用な予算計上方式ではある)、各省庁にある既

存メニューをなかなか取りにいかないというところもあります。これには、沖縄振興予算における財政特例の適用があることがあります。例えば1億の事業をする場合には、沖縄財政特例で9割は補助金で賄い、1割は県と市町村での負担割合で事業執行ができるという仕組みです。このような財政政策が法的に担保されているのは沖縄県だけです。

その財政特例制度を利用して、離島振興を含め、県内に必要なユニバーサルなハード、ソフト整備を進めていくのですが、現在、県は沖縄振興予算におけるハード交付金が減額され事業執行が随分と遅れていることもあります。県としては各省庁の既存のメニューを活用し、事業の県分の負担である県債も活用しながら、新規事業も進めていくべきなのですが、そのような取り組みが弱いのが実情です。いずれにしても、沖縄の税制特例に関しても、財政特例に関しても、沖縄のみ適用する制度というものなかで、我々の県民生活を下支えしている構造になっていることをどうか今後ともご理解を頂きたいし、可能な限り沖縄で採用されている特別な法律である財政特例と税制特例は保っていききたいと思っております。私の県政での立場は県政野党でありますけれども、政権与党の地方組織の議員であり、県民生活が安定した環境を維持していくためにも、今後ともしっかりと取り組んでいきたいと思っております。

私は、離島の選出議員として、平成30年の県議選補選で県議会議員になりまして来年任期満了時6月で約6年の議員経験になります。私のテーマは、「離島の振興なくして沖縄の振興はない」ということ、特に八重山の振興無くして沖縄の振興はないというのが私の信条でありますし、これは徹底的に県政の重要課題として追及していきたいと思っております。具体的な課題等の意見や現場を見て、与那国の問題、竹富離島の問題、石垣島の問題、特に離島交通アクセスの問題、農林水産物の問題、離島医療の問題等、今後ともしっかりと取り組んで参りたいと思っております。今日は、ありがとうございました。

～ 例 会 風 景 ～



本日のニコニコ: ☆大浜一郎県議会議員: 今日はありがとうございました。

☆前原博一会長: 大浜さん、今日はありがとうございました。 ☆今西敦之幹事: 大浜一郎県議、本日の卓話、よろしくお願い致します。

☆上勢頭保氏: 一郎県議、卓話ありがとう御座います。県政の裏話をぜひ聞かせてください!!

☆橋本孝来氏: 大浜さん、卓話ありがとうございます。宜しくお願ひします。 ☆黒島剛氏: 大浜一郎県議、今日は卓話ありがとうございました。

☆宮城早人氏: 大浜一郎県議、貴重な卓話ありがとうございました。今後ともご活躍を応援しています。

☆吉田貴紀氏: 大浜一郎さん、県政の報告の卓話ありがとうございました。 ☆新川正人氏: 大浜県議、ありがとうございました。

☆大島盛幸氏: 大浜県議、卓話ありがとうございました。 ☆新里裕樹氏: 大浜県議、卓話ありがとうございました。

☆木下省三氏: 大浜先生、卓話ありがとうございます。

◆BOX ¥12,000 (累計 ¥88,000) ◆コイン ¥2,568 (累計 ¥14,235) 合計 ¥102,235



米盛博和氏 7日(木) 上勢頭保氏 9日(土) 松原栄松氏 15日(金) 橋本孝来氏 16日(土)
木下省三氏 17日(日) 松尾和彦氏 20日(水) 黒島剛氏 24日(日) 玉吉秀庸氏 29日(金)

